

2011/4/26
第24号
(23年4月号)

しののめ



長野県総合教育センター通信

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

所長挨拶

長野県総合教育センター所長 諏訪 繁範

今春、松本県ヶ丘高校長から異動し着任しました所長の諏訪繁範です。お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

先ず以て、東日本大震災そして長野県北部地震により被災された地域と住民の皆様に対しお見舞申し上げますとともに、行方のわかっていない方々の発見と安全・安心できる日常生活を一刻も早く取り戻されますよう念じるものがあります。我々ができることは何か、すべきことは何かといったことを常に考えて行動をすべき時だと考えております。

さて、総合教育センターの活動も始まりました。季節の変わり目に呼応するかのように清々しい初任者対象の講座が既に展開されております。研修事業、研究調査事業、教育情報事業及び教育相談事業という四本の大きな柱は従来と変わりませんが、各担当部署の関係相互を密にしてご期待に応えることができるように進めてまいり所存でございます。小中高の先生方にとって教育に関わる信頼に足るセンターとなるべく、企画開発部を核に鋭意努めてまいります。センターをさらに一層ご活用頂きますようお願いいたします。

“Stay hungry. Stay foolish.”という言葉がスタンフォード大学で卒業生に贈ったのはアップル社のCEOのスティーブ・ジョブズです。我々一人ひとりが自らのためにしっかりと「知」「識」「才」へと連続する力をつけることが後世を担う者への責任でもあります。教育に関わる者は率先垂範、師弟同行の意識を持たねばならないのだと思っています。

その一助としてセンター通信「しののめ」があります。センターの活動を積極的に取り入れる等内容をさらに充実発展させ、様々な情報を提供してまいりたいと思います。教育は学校教育だけに特化したものではなく、無限の広がり可能性をもっております。情報の共有を図り、誇りある「信州教育」を力強く進めたいと思います。



センター正門より

センター脇の桜並木
<4月20日撮影>
まだ7分咲きくらい、4月下旬に満開になりそうです。



センター4月の風景



玄関前の石碑「磨かん共に」
教育への熱意と探究心を持って共に集い研鑽する場でありたいという願いが込められています。



知新寮(宿泊棟)

高等学校初任者研修スタート！

教職教育部

高等学校初任者研修「教職基礎研修Ⅰ」



4月12日(火)に、センターでの高等学校初任者研修のスタートに当たる「教職基礎研修Ⅰ」が実施されました。開講に当たり、教

学指導課の北澤潔指導主事から、郷土が生んだ偉大な教育者である三澤勝衛の「教育というものは、教えるのではなく学ばせるのである。…既成のものを注ぎ込むのではない。構成させるのである。否、創造させるのである。」という言葉を紹介しながら、教壇に立つ者の心構えについてのお話がありました。

また、高校教育課の菅沼尚教育幹から、「教育公務員としてのサービスの基本」についての講義を聴きました。

午後は、長野県経営者協会の藤澤令子先生のご指導で、「コミュニケーションスキルの向上」



についての講義と、初任者同士の自己紹介を含めたグループワークが行われました。

今年度の初任研対象者は81名です。これから1年間、校内研修やセンターでの研修、校長会が計画する研修などを通して、教職全般や教科指導、生徒指導の基礎を身に付けていきます。

<受講者の感想から>

- ・「自琢」の精神を持ち、多くのものを持ち帰られるよう臨もうと思う。
- ・勤務時間やそれ以外の時間も公務員として自覚を持って行動しなければならないと感じた。
- ・「言葉を磨く」ことと「授業に仕掛けを」の2点を実践していけるよう努力したい。

高等学校初任者研修「教職基礎研修Ⅱ」

4月19日(火)に、「教職基礎研修Ⅱ」が実施されました。総合教育センターの諏訪繁範所長から、「初任者への期待」と題して講話を行いました。



続いて、教学

指導課の堀金達郎高校教育指導係長から、「学力向上の現状と課題」について講義がありました。



した。長野県の高校の学力向上の取組の経過や、国レベルでの学力観の変化、キャリア教育の重要性などを豊富な資料を用いてお話しいただきました。所長も係長も、授業力向上のためには「授業を見せる・見る」ことが欠かせないというお話でした。初任者には、ぜひ

開かれた授業づくりに努めてほしいと思います。

午後は、株式会社コミュニケーションズ・アイ代表取締役であり、県教育委員でもある伊藤かおる先生をお招きし、名刺交換や電話応対など、社会人として欠かせないマナーや接遇に関する講義と演習を行いました。

<受講者の感想から>

- ・プロとして自己を磨き、生徒に教えながら学び続けていきたい。
- ・自分自身教師として授業をどう考えて作りあげていくか勉強になりました。社会に出る高校生の見本となるように気をつけていきたい。

- ・ 指定研修に係る通知を4月18日(月)に発送しました。各学校では校長研修、教頭研修、初任者研修、5年経験者研修及び10年経験者研修について貴校の指定者を確認して、該当の先生方へ必ず連絡をお願いします。
- ・ 5年経験者研修及び10年経験者研修の指定者について、猶予願の提出は、4月28日(木)までをお願いします。当センターのホームページ「関係書類様式」から各様式をダウンロードして作成し、提出してください。
- ・ ご不明な点等は、総合教育センター教職教育部にお問い合わせいたします。(Tel 0263-53-8804)

平成 23年度総合教育センターの4つの事業について

- 平成 23年度における当センターの 4 つの事業についてお知らせします。詳細は、4月の各地区の校長会で配布しました「要覧」や「研修講座案内」をご覧ください。

研修事業

「豊かな人間性・自ら学び自ら考える力などの『生きる力』をはぐくむ教育の推進」という目標のもと、教育課程・学習指導改善の指針の具現化をめざし、教員のキャリアステージに応じて資質の向上を図る研修及び基本的・専門的な知識や技能を習得する研修並びに学力向上等の教育課題解決のための研修を推進する。以下に研修事業体系図を示します。

< 研修事業体系図 >



研究調査事業

学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒に基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力をはぐくむために、共通の研究テーマとして「生きる力をはぐくむ学校教育の在り方」を設定し、県内各学校における教育活動の充実・向上に資するため、児童生徒の実態に基づいて、学習意欲及び学力の向上や生き方にかかわる研究調査を進める。

教育情報事業

センターにおける研修講座の案内や研究の成果、教育に関する図書や指導案等の教育資料、教育用コンテンツの活用事例等、学校を支援するため、教育情報の提供の充実を図る。

教育相談事業

子どもたちの健やかな成長を願って幼児、児童生徒、保護者、教職員を対象に教育相談を行うとともに、教職員の行う研究や学校教育上の諸課題の解決に寄与できるような教育相談を行い、それらの充実に努める。平成 22 年度から、専門主事による校内研修支援を実施しています。

研修講座の申込について

指定研修対象者（初任者・10年経験者研修）の選択必修研修と希望研修の申込締切りは **5月2日（月）** です。当センターのホームページ、「書類ダウンロード」の各種様式より「研修講座申込システム」用ファイル（EXCEL）と「研修講座申込手引き 2011年版」をダウンロードしてからご利用ください。

研修講座の申込に関するお問い合わせは、企画開発部へ

TEL 0263-53-8802